

経常収支赤字と財政赤字の関係

経済調査部 柵山 順子

そもそも経常収支とは何なのか

震災や円高、原油価格高騰などにより、昨年は31年ぶりに貿易収支が赤字となり、経常収支の黒字幅も大きく縮小しました（資料1、2）。最近では、経常収支赤字で日本は財政危機?!と話題になっています。なぜ、経常収支の赤字の話が国債や財政赤字と関係するのでしょうか？

経常収支とは、外国との取引を記録したものです。経常収支が黒字であるというのは、輸出が輸入より多かたり、配当金の受取が支払より多かたりした結果、外国に払う以上に受け取っており、国内に資金余剰がある状態です。

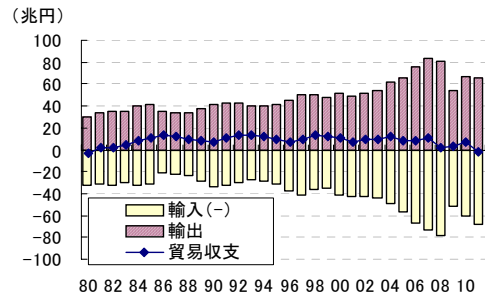
現在の日本は、家計と企業がカネ余り、政府がカネ不足（＝財政赤字）となっています（資料3）。総じて見れば、家計と企業の余剰資金が国債購入にあてられれば、財政赤字分をカバーできる状況です。これが国内資金に余剰がある、経常収支が黒字であるということです。

資金不足で財政赤字ファイナンスが困難に!?

今後、日本が海外で稼ぐ力が減り、経常収支赤字（＝国内がカネ不足）になるとすれば、それは家計と企業の余剰資金で国債購入を賄えなくなるということです。つまり、従来以上に海外の投資家にも国債購入を頼ることになります。となれば、より高い金利が要求され政府の利払い費が増大するなど、これまで通りにはいかななくなるのでは、と懸念されています。こうして、経常収支赤字と財政赤字の話が繋がるのです。

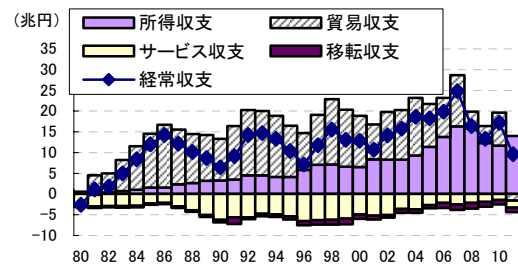
日本の経常収支が赤字になるかどうかは不明ですが、日本の財政赤字や債務残高は世界的にも最悪の水準であり、早急な対応が必要です（資料4）。超高齢化社会でも持続可能な社会保障システムの構築や消費税増税などによる税収拡大が求められます。

資料1 貿易収支の推移（通関ベース）



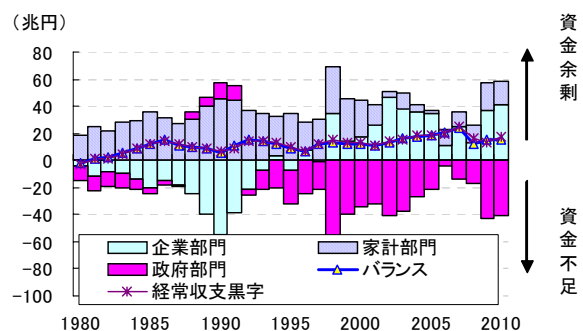
(出所) 財務省「貿易統計」

資料2 経常収支の推移（国際収支ベース）



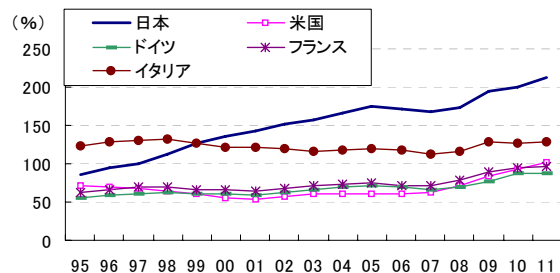
(出所) 日本銀行・財務省「国際収支」

資料3 部門別資金バランス



(出所) 内閣府「国民経済計算」、日本銀行・財務省「国際収支」

資料4 債務残高の国際比較（対GDP比）



(出所) 財務省資料より筆者作成